

# これが私の SDGs

SDGsは豊かな地球を守るため、って大きなテーマでなんだか難しい…  
けれどSDGsは経営課題を解決してくれる大切なキーワードなんです！  
近くの会社をのぞいて見れば、あれ、これもSDGsなんだ！  
小さなことでもまずはひとつ。SDGs、始めてみませんか？

## エシカルサロン Fukutsubo

## 自然素材のエコラップ×伝統工芸品藍染織のコラボ商品



所在地 神崎郡福崎町山崎814  
旧小國家シェアサロンつばめ野  
代表者 ハリス 有里  
HP <https://fukutsubo.square.site/>  
MAIL [yurih717915@yahoo.co.jp](mailto:yurih717915@yahoo.co.jp)  
オンラインショップあり



### ✓ エシカル&mottainai(もったいない)がテーマのショップ

もともと「家の中に溢れているものを少なくしたい」「できるだけごみを減らしたい」と思い、エコラップやコンポストを活用してなるべく不要なものやごみを出さない暮らしを実践していました。自分が使って良かったものを広めたい、とサロンを開業し、「エシカル消費（人や社会、環境に配慮した消費行動）」と「もったいない」をテーマに、エコラップやオーガニック製品を販売しています。

### ✓ くり返し洗って使えるエコラップは食品との相性◎

エコラップとは、コットン生地に、蜜蝋等を染み込ませて作った食品保存用ラップです。器のフタや野菜の切り口を包んだり、おにぎりやサンドイッチを包んだり、使い方は様々です。自然素材のみを使っているので、食品の鮮度とおいしさも長持ちします。

### ✓ 地域活性化のために伝統工芸品の藍染とコラボ

藍染織は兵庫県の指定伝統工芸品で、一点一点手で染められた藍染は、その模様や色合いが魅力です。この伝統工芸をエシカルな視点と融合させることはできないかと考え、山崎にある藍染工房さんとコラボして藍染・草木染のエコラップをオリジナル制作しています。

### ✓ くり返し使う、長く大切に使うを日常に取り入れて

昔から日本では、浴衣がくたびれたら糸をほどいて帯に、それがボロボロになれば草履に、と工夫して再利用する習慣がありました。実は藍染エコラップも、藍染工房で作るのれんの端切れを再利用しています。くり返し大切に使う意識で日々の暮らしがシンプルで豊かなものになるのではと思います。